

# マドリッド通信

在スペイン日本国大使館附属  
マドリッド日本人学校  
文責 堀内正樹  
平成30年5月4日 No.2

## こどもの夢

新年度が始まり約1か月を迎えようとしています。皆様の御支援・御協力のおかげでマド日も順調なスタートを切ることができました。ありがとうございました。

さて、日本では5月5日はこどもの日です。6月1日の「国際こどもの日」や11月20日の「世界こどもの日」に合わせて「こどもの日」を設定している国があるようでどこの国も子どもへの深い愛情は同じのようです。

ところで、ご自分のお子様の「夢」をご存知でしょうか。ある本に、このようなことが書いてありました…。

ある男性の子どもころの夢は「花屋さん」になることだったそうです。「花屋さん」といえば、女の子のなりたい職業にランクインしそうな職業ですが…。

この男性は、小さいころ母親と買い物に行くと、その途中に「花屋さん」があり、そこを通ると母親がいつも「花さんはきれいなお花に囲まれるし、花を贈る人も贈られる人もみんな笑顔にしてあげることができるね。」と話していたのだそうです。いつの間にか男の子は「いつかは花屋さんになろう。」と思ったそうです。中学に入りまた新たな夢をもったようですが、一番身近な親のもつ言葉の力は大きいと感じました。

子どもとのふれあいの時間をもつことの大切さはわかっていても普段じっくり子どもの話をじっくりと聞いてあげられないこともあると思います。しかし、「素敵な夢だね」「あなたなら、きつとなれるよ。」など周りの大人の一言が自信につながり、子どもの背中を押すことも確かなことでしょう。

こどもの日があるこの5月、マド日でもじっくりと子どもの夢に耳を傾けたいと思います。



## 新入生歓迎会



4月19日に新入生歓迎会が開かれました。代表委員会が企画したこの行事、第1部は体育館で新入生の自己紹介と在校生からの新入生へのインタビューが行われました。小学部一年生も

質問に対して相手にきちんと伝わるように答えることができました。

続いて第2部はレクレーション、「だるまさんがころんだ」と「フルーツバスケット」を行いました。小学校1年生から中学3年生まで一緒に活動します。代表委員会は小学生が不利にならないようなルールを考えてくれました。みんなの心が「つながる」ことができました。



## 5月の予定

1	火	メーデー	
2	水	マドリッド州の日	
3	木	委員会 全校集会	
4	金	部活動	
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		
9	水	健康診断 発育測定 給食	
10	木	漢検*英検 〆切	
11	金	歯科検診 部活動	
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		
16	水	給食	
17	木	運動会予行	
18	金	運動会準備 部活動	
19	土		
20	日	マド日大運動会	
21	月	振替休業日	
22	火		
23	水	給食	
24	木		
25	金	宿泊学習説明会 部活動	
26	土		
27	日		
28	月		
29	火		
30	水	給食	
31	木		

## 避難訓練実施！



4月18日に「不審者が校舎内へ侵入した」という想定で避難訓練が行われました。避難指示が出された後、子どもたちは担任と一緒に運動場を通り、2年前に取り付けられた「運動場避難口」から校外の公園へ避難しました。およそ3分で全児童生徒が避難できました。

その後、校舎外へ避難できなかった場合を想定し、出入り口が一つで、窓がない図工室へ逃げ込む「ロックダウン」の練習も行いました。ご協力いただいた大使館とスペインの警察のみなさまから、子どもたちの真剣な取り組みを高く評価していただきました。



## 授業参観日、保護者全体会

4月24日に、授業参観と保護者全体会が行われました。お忙しい中おいでくださりましてありがとうございました。子どもたちの学びに向かう力の育成のため、日々の授業を大切にしていきたいと思えます。また、アルメンドロの会の皆様から新派遣教員に素敵な花束をいただきました。ありがとうございました。

## 日本の文化・スペインの文化

端午の節句に向けて、ホールに「武者人形」、前庭には「こいのぼり」を設置しました。子どもたちは大はしゃぎ。日本人がこの節句に寄せる「子どもの成長への思い」をきちんと伝えていきたいと思えます。また、今年もスペイン語の授業が始まりました。子どもたちがスペイン滞在中に少しでも異文化に触れさせたいと思えます。



## マド日大運動会に向けて！

5月20日に開催される「マド日大運動会」に向けて、様々な準備を進めています。マド日タイムや体育の授業では開閉会式や種目練習・ダンス練習が行われ、子どもたちは生き生きと取り組んでいます。



・体力の向上

・競い合うことで、自分を高める

・競い合う相手の存在を大切にする

これらのねらいを子どもたちに様々な形で伝えていきたいと思えます。

## 間違いを恐れない「エジソン2万回の失敗」

教頭 平方 雅之

今年度から本校では皆勤賞を取り入れました。1年間を通して体調管理や自己管理を心がけ、1日も休まずに頑張る学校に通い続けた子たちを称えたいと思ったからです。やはりコツコツと努力を積み重ねることって大切だと思うんです。

皆さんは、エジソンという人物を知っていますか？そうです。一生のうちに約1300もの色々な発明をした人物です。そのひとつ白熱電球には、長時間、光を出し続けるために、電球のフィラメントと呼ばれる電球の中の光る細い線が、電気を通して熱くなっても切れないことが必要でした。フィラメントを何の素材にするのが、一番の難題でした。新しい素材を探して、試してみてもは失敗、また新しい素材を探して、試してみてもは失敗…その連続でした。

あなたがエジソンなら何回くらいあきらめずに挑戦できますか。

エジソンは、2万回近く実験を繰り返したと言われていました。工場ですぐに手に入る材料では全部うまくいかなかったため、植物に目をつけ、ようやくフィラメントに一番適したものを見つけたのです。それは、日本の京都の岩清水八幡宮の竹でした。白熱電球の誕生には日本が大きくかかわっていたのです。

こうして「白熱電球」は生まれました。このことは新聞記事にも取り上げられ、ある新聞記者が、エジソンに質問をしたそうです。「何万回も失敗をしてあきらめることはなかったのですか？」

エジソンは何と答えたでしょうか。

「あれは、失敗ではありません。うまくいかない方法の一つひとつ確かめたのです。あきらめることが失敗なのです。」と。もし、エジソンが1万回であきらめていたら、今の私たちの生活は暗闇のままだったかもしれません。

さて、新学期が始まりました。エジソンも1万回以上挑戦して、白熱電球を発明しました。みんなも一緒です。今、目標にかけていることがうまくいかないこともあるでしょう。何度も失敗して、間違えて、それでもまた挑戦して…そうやって成長していくのです。学校は間違ったり、失敗したりしてもいい所なのです。失敗や間違いを恐れず、何にでも挑戦して自分の可能性を伸ばしていく、そんな一人ひとりの姿を先生は見たいと思っています。一年間、ともに成長していきましょう！

